

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	520 佐那具千歳線道路改良事業	会計	01	一般会計
		款	08	土木費
		項	02	道路りよう費
基本 施策	50 市内道路網を機能的に強化する	目	03	道路新設改良費
		細目	344	地域活力基盤創造交付金事業
行革大綱の重点事項番号		細々目	56	佐那具千歳線道路改良事業
担当部課	コード 名称	190500 産業建設部建設1課	担当者 氏名	山本 昇
			連絡先	43 - 2323 (内線) 236

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	大山田地区からJR佐那具駅、工業団地へアクセスする人	※対象件数
成果(どうする)	移動時間が短縮され、安全な走行ができる。	
根拠法令・要綱等	道路構造令、アスファルト舗装要綱	
開始年度	平成 18 年度	関連事業
終了年度	平成 24 年度	
H21 事業 内容	本路線については平成9年度より緊急地方道路整備事業で整備(大山田から名阪国道南側までの1.5km)した市道を経て国道163号から国道25号に至る広域幹線道路であり、また、名阪国道伊賀一之宮ICへのアクセス道路である。名阪国道BOX北側から国道25号までの区間は未整備で幅員が狭小であり、本事業により道路整備を行う。 平成21年度事業内容 舗装新設工事 L=360m	
社会情勢 の変化等	財政事情が厳しい中、道路利用者からは、安全・安心な道路整備が期待されている。	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	伊賀市佐那具・千歳地内 全道路用地取得面積6,761m ²
2 建設面積(延床面積)	計画延長L=950m
3 規模・構造	道路構造令第3種4級(W=7.0m V=40km/h)
4 総事業費	460,000 千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
道路改良延長		m	目標 360	目標 360		200
			実績 360	実績 360		
道路用地取得面積		m ²	目標	目標	1,190	
			実績	実績		

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
道路整備による作業進捗		事業効果を高めるため短期間での事業完了に努める(執行済事業費/総事業費)	%	目標 37	目標 78	58	68
				実績 43	実績 49		
				目標	目標		
				実績	実績		

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計(A)	55,300	29,400	40,000	45,000				
Aの財源内訳	国庫支出金	24,600	16,170	22,000	24,750			
	県支出金							
	地方債	30,700	12,500	17,100	19,200			
	その他	0	0	0	0			
一般財源	0	730	900	1,050				
事業投入人件費(B)	1.5人	10,800	1.5人	10,800	1.5人	10,800	1.5人	10,800
フルコスト(A)+(B)	66,100	40,200	50,800	55,800				

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人(力)だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	○
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	○
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い。	○
	サービス水準や対象を見直す余地がある。	
達成度	当初設定した計画を 100% 実施している。	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
	予算の繰越の有無 無	
	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	○
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】 里川河川改修事業	
	受益者負担を求めることができる事業である。	
	全体コストにおける負担構成は適正である。	
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	工事施工計画を十分検討し、工事期間の短縮化を図るよう努める。
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 H21年度は舗装新設工事を実施したが、地元車優先等に配慮して交通規制をかけるとともに、工事材料の搬入についても一方向からの搬入に努め、交通の混乱を避けるよう配慮した結果、工事期間の短縮化が図れた。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	北山 太加視
【方向性】	現状維持
【理由】	
事業の方向性	本路線は国道25号線(伊賀市佐那具町)から市道千歳千戸線を経て国道163号線(伊賀市千戸)に至る広域幹線道路であり、必要性・有効性とも特に高いため、計画通り進めることが妥当であると考えます。
現時点における課題、その他	用地、補償協議継続して進め、取得できるように努める。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	地域活力基盤創造計画が平成25年度までの期間のパッケージ事業であるため、平成25年度までに完成を目指して取り組んでいく。